

企画部会 （平成 20 年度第 8 回）

議 事 録

2009 年 3 月 6 日（金）開催

時 間	16:00～18:00		場 所	地盤工学会会議室			
西 垣 副 会 長		土 田 部 長		原 田 理 事			
安 藤 部 員	×	工 藤 部 員	×	小 宮 部 員			×
佐 々 部 員	×	高 橋 部 員		堀 越 部 員			
李 部 員							
事務局：戸塚							

：出席 ×：欠席 ：未定

《配布資料》

- ・企画部会（平成 20 年度第 7 回）議事録 【別紙-1】 pp.1-3
- ・男女共同参画関連資料 【別紙-2】 pp.4-14
- ・土木学会 ダイバーシティ推進フォーラム会告
- ・創立 60 周年記念事業関連資料 【別紙-3】 pp.15-30
- ・地盤工学会創立 60 周年ポスター
- ・公益法人化関連資料 【別紙-4】 pp.31-36
- ・中長期部ジョンの見直しについての検討 2009/03/06 企画部
- ・委員会自己評価アンケート 【別紙-5】 pp.37-49
- ・本年度の委員会自己評価の実施について 2008.3.6
- ・次年度企画部会関連資料 【別紙-6】 pp.50-52

【議 題】

議事録担当者の選出 李

前回議事録の確認 【別紙-1】

事前にメールで確認し、承認されていたので省略した。

1. 男女共同参画 【別紙-2】、土木学会 ダイバーシティ推進フォーラム会告

- ・今年度大会の男女共同参画セッションの企画について

関東学院大学の女子学生に積極的に参加してもらい、彼女達の問題意識、知りたい聞きたい事に答えるような企画をするように進めている。そこで、規矩先生に連絡を取り中心的な学生さんを紹介してもらい、打合せを行うようにする。

保育所アナウンスに関して、全国大会で設置されることを発表者だけでなく広くアナウンスする目的からホームページのお知らせのところに記載してもらうよう規矩先生に依頼をする。

- ・地盤工学会における男女共同参画の常設委員会について

土木学会は現在小委員会で行っており平成 22 年度本委員会になるようである。そこで、土木学会と連携して委員会を開催できるようにする。そこで、予算措置、設立準備ワーキング設置などの対応を行う。委員会設立にあたっては、ダイバーシティを視野にいれたものにする事も検討する。

- ・土木学会ダイバーシティ推進フォーラムの後援が承認された。

- ・女子中高生夏の学校 2009 について

土木学会と共同でポスターセッションへの参加をするように準備する。設立準備ワーキングを考慮して共同参加が行えるような予算措置を早急に対応する。事前に土木学会へ共同参加の承諾を得る。

2. 創立 60 周年記念事業 【別紙-3】，60 周年ポスター
 - ・ 地盤工学会創立 60 周年ポスターについて
事業概要の段組，地盤工学会のマークの位置を再考し，スペースを空け支部のシールなどの貼り付けられる様にする．
 - ・ 座談会について
新公益法人を目指す地盤工学会シナリオには，一般市民の方々に地盤工学会を認知していただくような話題を入れる．3/26,27 頃にシナリオの最終案を作成し，メール審議を行い，四月上旬に座談会の参加者の方に案内をする．
3. 公益法人化 【別紙-4】
 - ・ 遊休財産の使途について，(企画部からのアイデア)
災害のために特定費用準備資金を設けるのではなく，学会にとって災害は重要な研究対象であることと社会貢献をすることを説明し特定費用準備資金に繰り入れる．
地盤工学博物館を関西国際空港，神戸空港，羽田空港などに建設し，試験機，コアなどを展示する．バーチャルでもいいのでは
研究発表会などのイベントを常設するような会館を設置することにより，一般市民の方が見学できるような施設を建設する．
地盤工学会単独でなく全地連など他団体と共同で施設建設を行えば
若い研究者支援を目的とした研究開発費助成制度の設立
 - ・ 中長期ビジョンの見直しについて
出版収益はこれから減収傾向にあることからコンサルタントができない分野，共同研究などの収益事業の活性化に関するビジョンを入れる．
4. 委員会自己評価アンケート 【別紙-5】
 - ・ 今年度の委員会活動レビューについて
安藤委員が担当となり，例年のスケジュールで実施する．
5. 次回開催予定
 - ・ 2009 年 5 月 15 日 (金) 10:00 ~ 12:00

以 上